

# 市場動向

(2018年8月～2018年10月)

## 赤坂地区

### 売買状況

(土地・建物)

物件を購入したいという買いニーズは増加しているが、売手の価格目線が高く、低い利回りのため採算が合わず買手は様子を見ている状況である。

大型のホテル案件は、大手企業間で2～3件市場に出回る前に取引されていた。

不動産売買の価格査定に来訪する業者が多く、水面下では売買取引が行われているようだ。

### 賃貸状況

年末の売上げを期待して10月・11月のオープンを目指して出店したいというニーズが多かったが、供給物件が少なく解約も無いため物件を紹介できていない。

他、求められている物件としては、重飲食が可能で且つ居抜き、排気容量や電気容量等の設備スペックが充実している物件である。

基準階のスケルトン物件で業種や営業時間に制限のある物件は、空室期間が長期化している。

### 街の状況

9月に赤坂氷川祭があり、各町会の神輿や山車が赤坂の街をねり歩き、ギャラリーも多く大盛況であった。

バー・クラブにおいては、早い時間帯に満席になっているお店も多くなり、年末の売上げに期待している経営者も多い。

また、マンションやホテルの建築が多数あり、外国人を含めて昼夜問わず人の流れが増加していると実感できるようになっている。